



壬生東小だより

第6号

令和6年10月18日

壬生町立壬生東小学校

校長 金久保 雅彦

教育目標・仲よく助け合う子 ・よく学ぶ子 ・たくましい子
目指す子供像「他者と協働し、目標に向かって根気強く取り組む子供」



【壬生東小HP】

「実りの秋」

早いもので、もう10月も後半に入り、「実りの秋」です。秋といえば、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などと言います。日本にある四季の中でも秋は、暑くもなく寒くもなく、とても過ごしやすい穏やかな気候なので、いろいろなことに集中できるといわれています。秋に頑張り努力したことが、冬を越し春に開花するともいわれます。この「実りの秋」に子供たちがより一層成長できるよう、学校は、保護者の皆様、地域の皆様と一体となって、本校の活性化を図っていきたいと考えています。どうぞ、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

《運動会》

運動会日和となった10月12日に運動会を実施することができました。子供たちは、全員が精一杯の素晴らしい姿を見せてくれました。児童も先生もやり切った笑顔と涙が心に残った運動会でした。多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。



《下都賀地区音楽祭》

「下都賀地区音楽発表会」に本校の合唱部が出場し、合唱曲「体育館」を合唱してきました。大きな舞台に立ち一所懸命に演奏してきました。

念願だった10月21日(月)に開催される「栃木県学校音楽祭中央祭」への推薦もいただきました。

中央祭へ出場できる事を知った瞬間に、涙を流し喜ぶ姿が見られました。本気で取り組んだからこそその姿だと思います。大きな舞台に立ち、一所懸命に演奏してきた経験は、とても、大切なものになりました。



《壬生論語検定》

「壬生論語検定」が行われました。検定は『初級』『中級』『世界チャレンジ』の3段階で行われます。2年生から6年生まで80名(町内の学校で最多)が挑戦し、全員が合格しました。

廊下や控え室で待っている間は、緊張した面持ちで、練習をしていましたが、検定に合格すると笑顔があふれていました。検定員の方々から、「みんな一生懸命でとても良かったです。」「すらすらと朗読できていました。」と、お褒めの言葉をいただきました。



校長室の窓から

ある教室を訪れると、タブレットを使って振り返りを書いていました。短い時間で1000文字を超える振り返りを記入している子もいました。後日、数人に振り返りを書くのは手書きの方がいいのでは?と聞くと、全員が手書きの方が大変、タブレットの方が便利との返事でした。タブレットは間違えたときに消しゴムに持ち替えなくてすむし、ひらがなを漢字に変換するのも簡単。文の入れ替えも簡単にできる。などなど。タブレットは子供たちには必須アイテムになっているな、と改めて感じました。手を動かして文字を書くという行為は、触覚を非常に使う複雑な動きであり、キーボードで文字を入力するという行為よりもはるかに脳を刺激します。大切なのは、文字を書くのか、キーボードに入力するのかを適切に選び、使えるようになることだと感じています。